

## 令和5年度事業報告

### 介護老人保健施設あじさい

入所部門（短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護含む） 定員 80名

#### 令和5年度 数値目標

稼働率 95% 平均利用者数 76.0名 在宅復帰率 30%以上

#### 実績（令和5年4月～令和6年3月）

稼働率 91.3% 平均利用者数 73.1名 在宅復帰率 24.9%

（内訳 入所 72.6名 平均介護度 2.9 短期入所 1.3名 平均介護度 3.2）

#### 参考実績 R4年度

稼働率 89.6% 利用者数 71.7名 在宅復帰率 26.1%

（内訳 入所 70.9名 平均介護度 2.6 短期入所 1.4名 平均介護度 2.5）

通所リハビリテーション部門（介護予防通所リハビリテーション含む） 定員 60名

#### 令和5年度 数値目標

稼働率 65.0% 平均利用者数 40名/日

#### 実績（令和5年4月～令和6年3月）

稼働率 68.0% 利用者数 40.8名 平均介護度 2.2

#### 参考実績 R4年度

稼働率 54.8% 利用者数 32.9名 平均介護度 2.1

【部 門】介護老人福祉施設 定員 50 名、(介護予防)短期入所生活介護 定員 10 名

令和5年度数値目標

- ・1日の平均利用者数 48 名 稼働率 96%
- ・ショートステイ 1日の平均利用者数 8 名 稼働率 80%

令和5年度実績

- ・1日の平均利用者数 45.5 名 稼働率 91%
- ・ショートステイ 1日の平均利用者数 6.96 名 稼働率 69.6%

【部 門】地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 定員 20 名

令和5年度数値目標

- ・1日の平均利用者数 19 名 稼働率 95%

令和5年度実績

- ・1日の平均利用者数 19.05 名 稼働率 95.2%

【部 門】通所介護 定員 35 名

令和5年度数値目標

- ・稼働率 77%

令和5年度実績

- ・1日の平均利用者数 26.0 名 稼働率 75%

【部 門】訪問介護

令和5年度数値目標

- ・サービス提供時間月平均 350 時間

令和5年度実績

- ・サービス提供時間月平均 312 時間

【部 門】居宅介護支援

令和5年度数値目標

- ・介護給付 月平均 175 件
- ・予防給付 月平均 20 件

令和5年度実績

- ・介護給付 月平均 173.4 件
- ・予防給付 月平均 12.2 件

【部 門】(介護予防) 認知症対応型通所介護 定員 12 名

令和 5 年度数値目標

・稼働率 83%

令和 5 年度実績

・1 日の平均利用者数 8.73 名 稼働率 72.77%

## こでまり令和5年度事業報告

特定施設入居者生活介護 定員48名

### 令和5年度数値目標

稼働率 97%

### 令和5年度実績

稼働率 98.7%

### 令和4年度実績

稼働率 96.9%

平均介護度

1.95

月の平均利用者数 47名

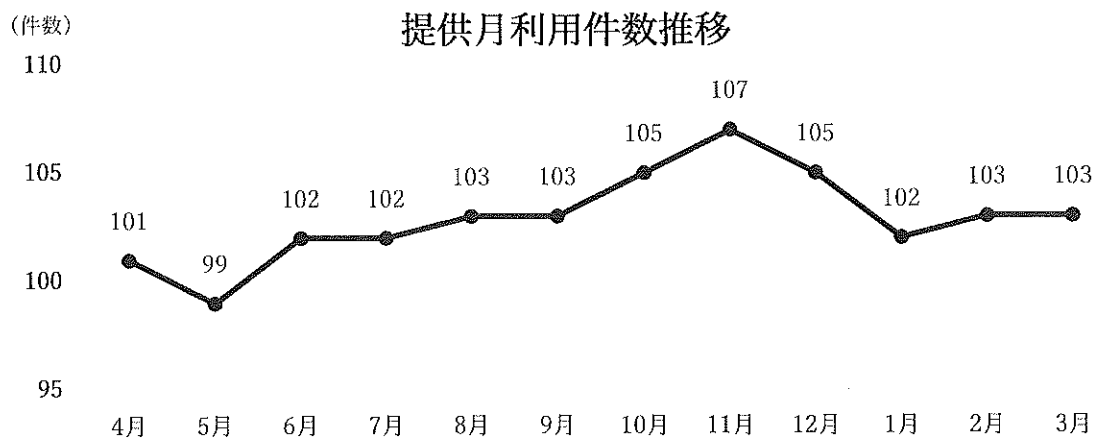
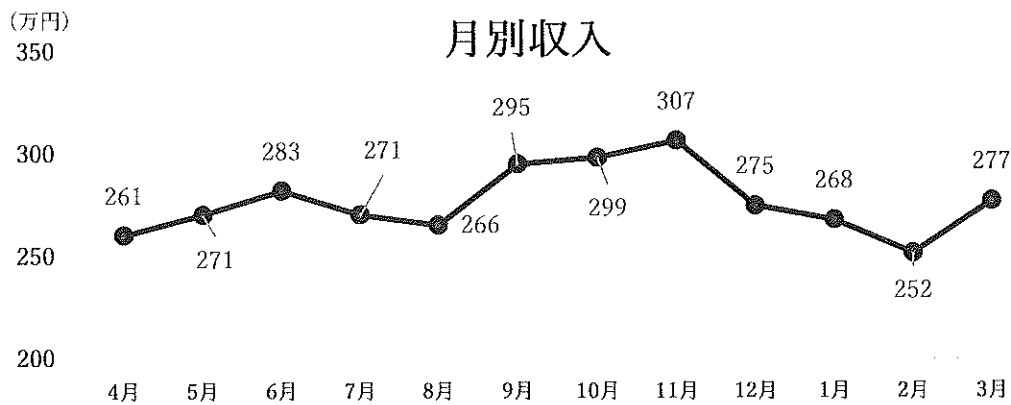
# 令和5年度事業報告

事業所名：LaKiKi

事業区分：通所介護（リハビリ型半日デイサービス）

利用者数： 105名 平均介護度 0.55

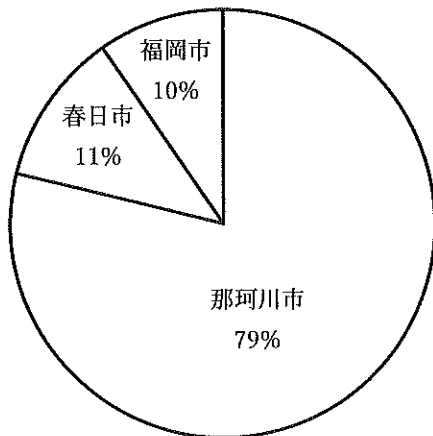
稼働率： 58.8%



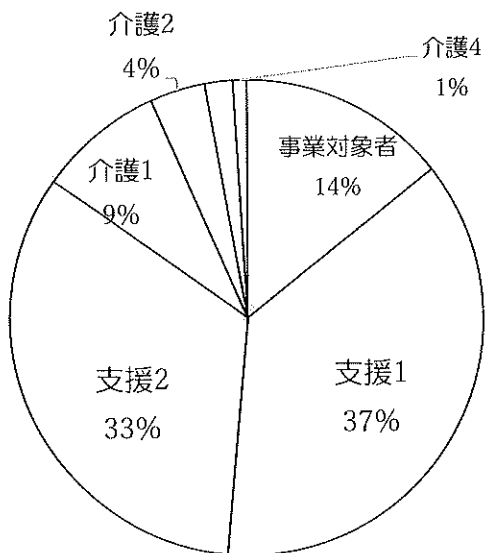
グラフの通り、5月は体調不良や入院のための欠席者が多かった。そのため利用件数の減少が見られているが、6月以降は徐々に利用数が増えている。また、4月、8月、2月以外の利用料が目標値270万を超え、R5年度総収入は33,237,209円となり、今年の月当たりの平均が目標値の270万円/月の売り上げを達成することが出来た。また、11月は、過去最高の300万を超える売り上げとなった。

R5年度の体験者は、4月は少なかったが、5月からは徐々に体験数も平均3~4名となり、最高の月件数は11名であった。

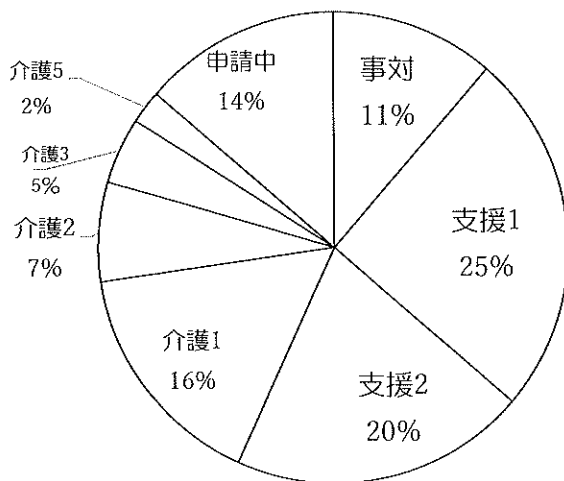
### 市町村別割合



### R5年度介護度別割合



### R5体験者介護度割合



令和5年度 ライフレスキュー事業 事業報告

・活動実績なし

## 令和5年度「ゆめ広場」の事業報告

NPO法人 絆・なかがわ  
代表理事 森 千春

事業名	子どもの居場所「ゆめ広場」
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な広場開放(月曜日16時00分～18時00分)では子ども達が楽しめる環境を作った。 また、第4土曜日に昼食の提供を行なった。</li> <li>随時子どもや保護者の相談を受けた。 広場を使用することで気兼ねなく相談しやすい様子だった。</li> <li>毎月第1土曜日に資源物回収を行ない、その収益は「ゆめ広場」でのおやつ代等に充てることができた。</li> <li>子ども達及び家庭の課題を行政(学校教育課、福祉課等)、学校等関係機関に繋げた。</li> <li>障がい者支援として、月2回のゆめカフェ(金曜日16時～18時)と月2回の作業ルーム(土曜日14時～16時)も行なっている。</li> <li>市の事業である「生活困窮世帯の子どもの学習・生活支援事業」を受け、これまでの事業(月曜、金曜、土曜)を継続しつつ、更に火曜日と土曜日に学習支援を行ない学習の定着を図る。生活支援として週2回仕事体験日を設け岩塩の袋詰めを行っているが、その内1名は生活も整い、仕事につなげることができた。 3月末には、幼稚園にも行かず日常生活が整ってない子どもの入学前支援を行った。</li> </ul>
事業の必要性や成果	<p>コロナ禍を過ぎ、子どもも大人もコミュニケーションが苦手になった人が増えた。「子どもの居場所」の必要性を実感する。 また障がいを持つ社会人も仕事の後立ち寄ることができることで仕事の話や日常生活の話ができ、夕方までの時間を有効に使うことができている。また今年度も中学3年生は無事高校に合格、入学につながった。</p>

	小学生～高校生	保護者相談 親子相談	しょうがい児・者
月・金曜日(ゆめ広場・生活支援)	78人		10人
火曜日・土曜日(学習支援)	201人		
土曜日(生活・相談支援)	50人	9人	20人
他曜日			